

ネイチュア・フィーリング研修会・島根県

音・風・味・香り・温もり

見つける 感じる 伝えあう

日本自然保護協会が進める自然観察手法であるネイチュア・フィーリング。老若男女、からだの不自由な方も含め、誰とでも五感をフルに使って自然を観察し、感動を分かちあい、自然のしくみに気づき伝えあうことが特徴です。知識に頼らない自然の伝え方がここにあります！

自然系ガイド・インストラクター大歓迎！

ネイチュア・フィーリングの技術は自然の深い理解の促進に活かされます。

「自然観察指導員講習会」より1段も2段も**深く具体的に**、五感で観察する技術と豊富な事例を学びます。



期日：2022年 6月 25日(土)～26日(日) 雨天実施 受講者募集中！

25日は、13:00 受付開始 13:30～18:00 / 26日は、10:00～15:30 日帰り二日間 (予定)

- 会場 国立三瓶青少年交流の家 島根県大田市山口町山口 1638-12
6月25日は第6研修室で受付します。
- 受講料 A: 日帰り参加の方(※原則はこちら): 2000円 (テキスト代、26日昼食代を含む)
B: 25日に宿泊される方(※遠方等ご事情がある方): 4380円 (テキスト代、25日夕食、宿泊費、26日朝食・昼食を含む)
- 定員 40名 ※多数の場合は抽選
- 参加対象 ①～③すべてを満たす方
①県内在住の満18才以上の方
(ただし、島根県自然観察指導員連絡協議会に所属する県外在住者は対象)
②2日間の全プログラムを受講できる方
③自然保護教育の必要性を認識し、自然観察活動の推進に意欲があり、できるところから実践する意欲のある方、または現在活動されている方
- 申し込み期間 2022年5月16日(月)～6月3日(金)必着
- 申込み方法 下記専用申込フォームか右記QRコードをご利用ください。

<http://urx.red/WGRw>

<上記フォームを使用されない方>

下記をハガキにご記入の上、島根県にお送りください。

①氏名 ②性別 ③年齢 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号

⑦メールアドレス(任意) ⑧自然系の登録や資格(任意) ⑨宿泊希望の有無(原則日帰り)

郵送先: 〒690-8501 松江市殿町128番地 島根県環境生活部自然環境課 自然保護グループ



テキストは2021年に出版し好評を博している本『多様な個性で広がり五感で深める特別な自然観察会 ネイチュア・フィーリング 実践テキスト』
1650円

愛する**自然**があるから、もっと沢山の**人**に**自然の魅力**を伝えたい

島根県は、**魅力を伝える人づくり**に力を入れます！

主催: 島根県・公益財団法人日本自然保護協会

共催: 国立三瓶青少年交流の家・島根県立三瓶自然館サヒメル・島根県自然観察指導員連絡協議会

1日目 6月25日(土)

2日目 6月26日(日)

13	受付 13:00~13:30	室内
	開会式・諸説明 13:30~13:40	
14	野外実習① 13:40~15:40 「五感を使った自然観察」 ☆ネイチャ・フィーリングを体験学習!	野外
	休憩 15:40~16:00	
15	講義① 16:00~17:30 「ネイチャ・フィーリングの 実践例と基本」	室内
16	翌日の野外実習説明・班分け・緒連絡 17:30~17:55	

18時解散

10	講義② 10:00~11:00 「からだの不自由な人との観察会で 配慮したいポイントと実践例」	室内
11	野外実習② 11:00~11:30 「ネイチャ・フィーリング 自然観察会を企画しよう」	各班毎
	野外実習③ 11:30~11:45 「誘導の方法」	
12	昼食(食堂にて)	室内他
13	野外実習④ 12:45~13:45 「ネイチャ・フィーリング 自然観察会をやってみよう」	
14	班毎のふりかえり 講師よりアドバイス 13:45~15:00	
15	島根県・協議会・NACS-J紹介 閉会式 15:00~15:30	

15:30解散

3ステップで効果的に学べるプログラム

①実習

五感を活かした観察を体感
☆リラックスして自然を感じよう

②講義

経験豊富な講師から手法
や成功例を学ぶ
☆体感後なので理解しやすい

③実技

学びを活かして早速実践
☆やってみる事が最も学びを定
着させます

観察力を
レベル
アップ

■ 充実の講師陣

鳥山 由子 とりやま よしこ

NACS-J 監事、元筑波大学教授

ネイチャ・フィーリングの創設に関わり、
研修会講師を続けている第一人者。自然
教育の講師として国内外で活躍中。

瀬川 三枝子 せがわ みえこ

ネイチャ・フィーリングをすすめる会

20年以上毎月ネイチャ・フィーリングを
実践している。研ぎ澄まされた自然観察
眼で、周囲に発見を与え続けている。

武井 洋子 たけい ようこ

筑波大学附属視覚特別支援学校教諭

生物の授業を通して、目の不自由な
中高生とともに日々発見をしている現
役教諭。

■ 公益財団法人日本自然保護協会(NACS-J)とは

1951年に設立した、全国規模の自然保護団体(NGO)です。日本の自然を守り、豊かな自然を次世代に引き継ぐために、調査研究や自然を守るしくみづくりのための政策提言、自然の魅力や守り方の教育普及など、自然保護活動を展開しています。活動の自主性・独立性を保つために、補助や天下りは受け入れず、約2万人の会員会費と寄付、支援に支えられて活動を行っています。自然観察リーダーの養成を40年以上、3万人以上に実施し続けています。

<お問合せ先> (公財)日本自然保護協会 ネイチャ・フィーリング担当

東京都中央区新川 1-16-10 ミトヨビル2F TEL:03-3553-4101 メール:kansatsu1978@nacsj.or.jp